

小学部高学年のダウン症児が、
登校時に自分のかばんを机の上に
置くための支援

1

指導目標

【長期目標】

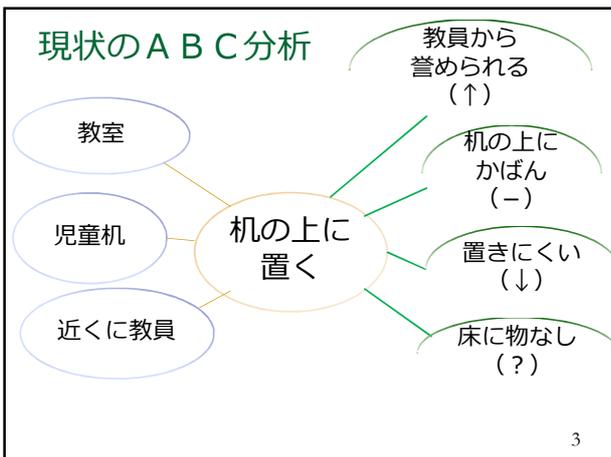
登校時、自分のかばんを机の上に置
いてから、荷物を所定の場所に片付
けることができる。

【短期目標】

自分のかばんを自分の机の上に置く

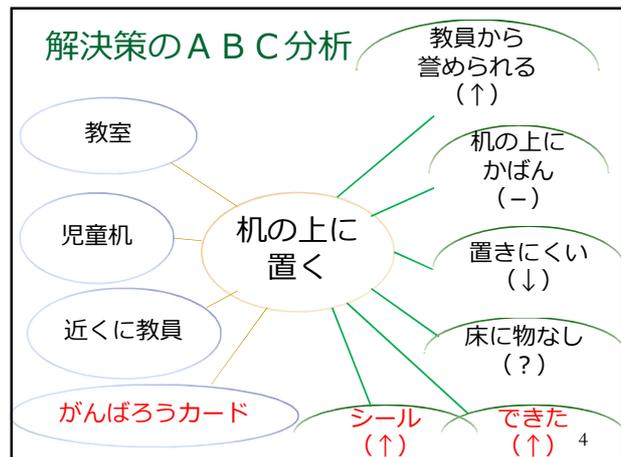
2

現状のABC分析



3

解決策のABC分析



4

方法

【対象児】

- ・ダウン症
- ・LDT-R ステージⅢ-2
- ・簡単なことばでのコミュニケーションがとれる。
- ・恥ずかしがり屋。几帳面。
- ・登校後の荷物の片付けは一人でできるが、かばんを床に置いてから片付け始める。
- ・言葉かけや指さしなどでかばんを机の上に置くことができるが、定着していない。
- ・徳島ヴォルティス（選手やマスコット）が好き。
- ・ハートマークなどかわいらしいものも好き。

5

方法

【指導場面】

登校時の教室

【般化場面】

更衣室でかばんを下ろすとき

【教材】

がんばろうカード

- 机にかばんが置いてある写真
- +ボルタクンorティスちゃん
- +シール枠

かばん（リュック）&児童机

6

手続き（1）

ベースライン
（声かけ・賞賛）

- （1）登校後、かばんを置くのを見守る。
- （2）かばんを机の上に置くことができたら誉める。
かばんを床に置いたときは、声かけで机の上に置くように促す。

7

手続き（2）

がんばろうカード
+エラーレス
+賞賛
+シール

- （1）がんばろうカードを机の上に貼っておく。
- （2）登校後、本児のそばでかばんを置くのを見守る。
- （3）かばんを下ろし始めたら、机の上に置くように声かけをしながら身体的ガイダンスをする。
置けたら誉め、シールを選ばせ、がんばろうカードに貼るように促す。

8

手続き（3）

がんばろうカード
+賞賛
+シール

- （1）がんばろうカードを机の上に貼っておく。
- （2）登校後、本児のそばでかばんを置くのを見守る。
- （3）かばんを置けたら誉め、シールを選ばせ、がんばろうカードに貼るように促す。
床に置こうとしたら、がんばろうカードを指さして、机の上に置くように促す。

9

手続き（4）

- 徐々にカードや賞賛などを減らしていく。

がんばろうカード
+賞賛



がんばろうカード



カード・賞賛なし

10

記録方法

- 必要だった支援の種類を記録して、評価をした。

- ：自発的にかばんを机の上に置いた
- △：声かけ・声かけで机の上にかばんを置いた
- ×：ガイダンスで机の上にかばんを置いた

11

達成基準・中止基準

【達成基準】

3日連続で○が続いたとき

【中止・再考の基準】

3日連続で×が続いたとき

12

結果 (1)

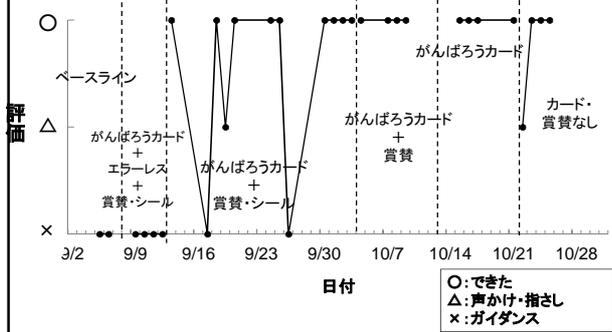


図:自発的にかばんを机の上に置くことができた

結果 (2)

- ベースラインでは床の上にかばんを置いていた。
- エラーレスで4日間の指導後、初回から自発的に机の上にかばんを置くことができた。
- ガイダンスが必要なときもであったが、7日目に3日連続を達成した。
- 机のがんばろうカードを見ながらかばんを置く様子が見られた。
- シールや賞賛なしにしても、自発的にかばんを机の上に置くことができています。
- がんばろうカードをなしにしても、2日目で自発的に置くようになった。

14

考察 (1)

- がんばろうカードの活用
→行動を引き出すために、がんばろうカードが有効だった。
→がんばろうカードに好きなキャラクター・シールを使ったことも効果的だった。
- 好子（誉めらる・シール）の活用
→誉められること、シールが効果的な好子。
- がんばろうカードで、できたことを確認しながらシールを貼る
→すべきこと（机に置く）がフィードバックできた。

15

考察 (2)

- がんばろうカードやシール・賞賛なしでもできるようになった。
→カードやシールの活用を通して、すべきことが「わかった」、自分で「できた」という経験を積み、行動が定着化した。
- 定着化につれ、カードやシールのような補助的な支援の必要がなくなった。

16